

大雨で避難勧告

2009.7.19集中豪雨

阿仁川・米代川などが増水
低気圧から延びる梅雨前線の影響により、7月18日から19日にかけて北鹿地方に大雨が降り、本市でも18日午後から24時間で降った雨は7月の観測史上最高値を更新、阿仁川や米代川流域で河川が氾らんし、浸水や土砂災害、農業災害などの被害が広がりました。

■18日、災害対策本部を設置
本市では、17日からの降雨に伴い綴子川が警戒水位を超えはんらんの恐れがあるため、18日午後11時に災害対策本部（本部長＝津谷市長）を設置しました。

■全市で939世帯、2千6百人に避難勧告
また、森吉地区でも阿仁川が警戒水位を越えたことから、午後8時、阿仁川に隣接する小又前田駅前、通り町、鍛冶町、下前田、大洲などの299世帯756人と合川地区の西根田、羽根山、李岱、明田などの325世帯941人に避難勧告が出され、さらに午前10時20分に合川地区の増沢、木戸石、八幡岱の303世帯941人が対象に加わりました。



災害対策本部会議（19日大会議室）

鷹巣地区では、11時10分に綴子川に合流する谷地川が増水して隣接の私道が冠水、床下浸水の恐れがあることから、綴子字掛泥向の6世帯16人に避難勧告を出し、翌19日午前0時25分までに避難場所である材木町の交流センターな

る大勢の市民が避難し、避難勧告の解除を待ちました。
避難勧告が解除されたのは森吉地区が19日午後4時30分、鷹巣地区が同5時。合川地区は小阿仁川の水位が下がらなかつたため、翌20日午前7時30分に解除されました。
■床上浸水2棟・床下浸水12棟など
今回の集中豪雨による被害は、避難時に手足にけがをするなどの人的被害が2件、人家の裏山が崩れ家屋の一部損壊や床上浸水など住宅被害が15件、水田冠水が588haに上りました。市がまとめた7月22日現在の主な被害状況は次の通りです。

単位：建物＝棟、農地＝ha

区分 地区	住宅被害		非住家被害	農地冠水	道路等
	床上浸水				
鷹巣地区	2	8	2	208	河川1力所 市道3力所
合川地区	0	8	1	300	
森吉地区	0	0	0	80	
阿仁地区	0	0	0	0	
計	2	16	3	588	



▲増水した阿仁川（増沢地内）



▲冠水した羽根山地内の水田



▶裏山が崩れ家屋の一部損壊（田沢地内）



▲水没した市道坊沢く大向線

地域課題等で活発な意見交換

平成21年度北秋田市行政協力委員各地区全体会議を開催

平成21年度北秋田市行政協力委員全体会議が鷹巣・合川・森吉・阿仁の4地区で7月7日から9日までの4日間、各地区の公民館等で開かれ、市からは防犯街灯更新事業、内陸線の乗車運動、住宅用火災警報器の設置などについて協力をお願いしたほか、地域課題等について活発な意見交換が行われました。

行政と市民とのパイプ役—行政協力委員

行政協力委員は、広報紙の配布、市と住民との連絡調整などの職務を持つ、非常勤特別職の公務員で、北秋田市では、鷹巣地区116人、阿仁地区39人、森吉地区69人、合川地区52人の合計276人が委嘱されており、毎年各地区で全体会議が開催されています。

このうち、7日に中央公民館で開かれた鷹巣地区の全体会では、72人の行政協力委員が出席。はじめに津谷市長が「平素より広報紙の配布や行政情報の周知、連絡調整などにご協力いただき、あらためて感謝申し上げます。市に関する様々な情報を、市民の皆さんと、共有していきたいと考えている。市民と同じ目

線で物事を考えていくとともに、市が抱えている問題等についても皆さんにできるだけ早くお伝えして共有していきたい。今日は、行政への率直なご意見、ご提言をお願いしたい」とあいさつ。
続いて、市職員が行政協力委員制度や広報紙等の配布等について説明。前述に関する質疑応答のあと、内陸線の乗車運動のお願いや防犯街灯更新事業の要旨を説明しました。また、消防本部から市内の火災発生状況や住宅用火災警報器の設置促進などについて説明し、市政全般にかかる質疑応答が行われました。
各地区での全体会で出された主な質問と回答は次の通りです（回答が緑字）。

▽各集落への案内板設置について
進行状況は／今年度内に実施する予定。現在計画中です。
▽市民病院へのアクセスは有料か。有料とすれば鷹巣地区からの料金は、／有料。鷹巣駅から病院は440円。大野台駅から病院は190円。
▽防犯灯設置に係り、蛍光灯は実施することの観点から、木柱の交換については実施するのか／要望があつたものはすべて実施する予定です。
▽火災警報器の設置について、補助金の交付は22年3月までとなっているが、それ以降の設置に対する補助はないか／少しでも早く設置してもらいたいとの理由で交付期限を設定した。期限以降の補助については、市内の設置状況等を見ながら検討したい。
▽市民病院説明会に係る通知について、周知する期間が短いのでは。また、回答するにあたり必要な枚数が配布されなかった／説明会については、当初7月を予定しておりましたが「市民の皆さんに、病院の状況を少しでも早くお伝えしたい」との思いから6月20、21日に実施した。そのことにより、周知する期間が短くなってしまい、急な対応になってしまったことをご詫言いたします。回覧部数については、再度確認し、十分な枚数を届けます。
▽内陸線は、23年度までに年60万人の利用と経常損失2億円としているが、今年度はどのくらい乗車人数を見込んでいるか。／今年度いくらかということは見込んでいない。県と再生総合事業を進めているところ。
▽自治会管理の街灯でも公共性の高いものについては市からの助成をお願いしたい。／今後、検討します。
▽内陸線の二次アクセスの実証期間は、また期間が終了した場合はどうなるのか。／期間は1か月ですが、利用状況を見て期間延長等を検討します。



▲4地区で開催された行政協力委員各地区全体会議（鷹巣地区会場）